

# ケアネットせとうち通信



## 瀬戸内市在宅医療・福祉・保健連携推進協議会を開催しました

瀬戸内市在宅医療・福祉・保健連携推進協議会は、医療・福祉・保健の関連団体から選出された委員が連携し、在宅医療・福祉・保健連携推進に必要な事項について検討を行っています。

【愛称：ケアネットせとうち】

### 第2回 令和8年3月11日（水）

第2回の協議会では、下記について協議検討を行いました。

1. 令和7年度地域包括ケア実行計画の実績報告
2. 瀬戸内市在宅医療・福祉・保健連携推進協議会専門委員会
3. 認知症初期集中支援チーム検討委員会
4. その他

来年度の体制等について



今回は、今年度2回目（最後）の協議会になります。各団体及び協議会の今年1年間の新しい取り組みや、来年度の計画等、各方面の現場からの生の声をお届けいただき、活発な情報共有、意見交換を行いました。また、各専門委員会での活動についてご報告いただいた他、認知症初期集中支援チームの活動についても、アドバイスをいただきましたので、来年度以降の活動に活かしていきたいと考えております。引き続き、連携して地域包括ケア推進に努めて参ります。



### 専門委員会（多職種連携） 令和7年12月17日（水）

1. 「私の在宅療養のしおり」（改訂）について
2. 令和7年度地域包括ケア実行計画（進捗状況の共有）
3. その他

今回の専門委員会（多職種連携）では、「私の在宅療養のしおり」（改訂）について、活発な意見交換、および地域包括実行計画の進捗状況の共有を行いました。

いただいたご意見を、今後の活動の参考としていくこととなりました。

※改訂後の「私の在宅療養のしおり」は令和8年夏頃配布開始予定です。

### 今後の開催予定

令和8年第1回協議会 令和8年6月10日（水）



### 瀬戸内市地域自立支援協議会

瀬戸内市地域自立支援協議会は、障がいのある方が安心して地域で暮らせるよう、保健・医療・福祉・教育・就労などの関係機関が連携し、官民一体となって支援体制づくりを進める場です。日々の相談や個別支援会議の中で見えてくる地域の困りごとについて、関係機関が集まり、解決に向けて話し合いや情報共有を行っています。事業所や基幹相談支援センターとのつながりを大切にしながら、障がいのある方が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう取り組んでいます。

瀬戸内市地域自立支援協議会は、3部会で構成されています。

#### 地域生活支援部会

障がいのある方が地域で安心して暮らせるよう、地域生活に関わる課題や情報を共有しながら、支援の充実に向けた話し合いを行っています。

〈今年度の取組〉障害福祉サービスの手引きの作成や障害者週間の啓発活動、防災への取り組みなどについて検討を進めました。

#### こども部会

子どもたちが安心して成長できるよう、乳幼児期から学齢期までの支援のあり方について関係機関で話し合っています。

〈今年度の取組〉発達障害者啓発週間のライトアップや、教育と福祉の連携強化、医療的ケアに関する情報共有などに取り組みました。

#### 就労支援部会

障がいのある方が地域でいきいきと働けるよう、就労支援や働く場づくりについて関係機関で意見交換を行っています。

〈今年度の取組〉瀬戸内市民図書館もみわカフェでの販売や、障害者優先調達の推進、障害者雇用を広げるためのワークフェアなどについて検討を進めました。



### あなたの『人生会議』について考えてみませんか

これからのこと、少しお話ししてみませんか

～「人生会議」（ACP：アドバンスケアプランニング）という取り組みです～



あなたは、「これからの暮らしをどのように過ごしたいか」考えたことはありますか。

人生会議とは、体調が大きく変わった時などに備えて、自分の希望や大切にしたいことを、家族や医療・介護の支援者と話しておくことです。

むずかしい話し合いではありません。元気な今だからこそ、ゆっくり話すことができます。

#### どんなことを話すの？

たとえば、こんなことです。

- ・できるだけ自宅で過ごしたい
- ・つらい治療は控えたい
- ・家族には笑顔でいてほしい
- ・好きな音楽を聴きながら過ごしたい

正解はありません。

そのときの気持ちで変わっても大丈夫です。

#### はじめの一步は「ひとこと」から「これからのこと、少し話してみようか」

そんなやわらかな声かけで十分です。お茶を飲みながらでもかまいません。

#### なぜ話しておくといよいのでしょうか？

急な入院や体調の変化があったとき、自分の思いを伝えられないこともあります。

あらかじめ気持ちを伝えておくことで、家族も「どうしたらよいか」と迷わずに済みます。

それは、あなたの安心にもつながります。

人生会議は、これからあなたらしく過ごすための話し合いです。家族や支援者と、話し合い（共有）をしてみませんか。



人生会議の主旨をご理解いただき、地域包括ケアシステムの深下・推進のため、地域で人生会議の推進にご協力ください。

### 岡山県介護支援専門員協会瀬戸内支部

岡山県介護支援専門員協会瀬戸内支部は、瀬戸内市で活動するケアマネジャーが集まり、お互いに学び合い、支え合いながら活動している団体です。地域で暮らす高齢者やご家族が、住み慣れた場所で安心して生活を続けられるよう、一人ひとりの思いや暮らしに寄り添った支援を大切にしています。

また、ケアマネジャー同士が気軽に相談できる関係づくりを大切に、研修会や勉強会、情報交換の場を通して、よりよい支援につなげています。

そして、医療・保健・介護・福祉・行政など多職種と連携し、地域全体で高齢者を支える仕組みづくりにも積極的に取り組んでいます。

これからも地域に根ざした活動を続け、安心して暮らせるまちづくりに貢献していきます。



# 認知症初期集中支援チーム 活動中!

認知症は、加齢に伴い誰もがかかる可能性のある疾患です。

瀬戸内市では、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、「認知症初期集中支援チーム」を健康長寿課に設置しています。医師・保健師・看護師・社会福祉士などの専門職が家庭を訪問し、認知症の早期発見・早期対応を支援します。

また、かかりつけ医や地域包括支援センターなどと連携し、ご本人やご家族の状況に応じた支援を一緒に考えます。相談は無料で秘密は厳守します。気になることがあればお気軽にご相談ください。

なお、もの忘れが気になる方や認知症について悩んでいる方を対象に、地域包括支援センターの協力のもと「もの忘れ相談会」も開催しています。専門職の方や地域で活動されている委員の皆さまからのご紹介もお願いします。

## 支援チームの活動内容

- ・ご本人やご家族への相談支援
  - ・医療機関の受診調整、同行
  - ・介護サービス利用のご提案
  - ・認知症に関する情報提供
  - ・ご家族の介護負担の軽減支援
- ※おおむね6か月を目安にサポートを行います。

## 支援対象となる方

- (40歳以上の、自宅で生活している認知症の方や、認知症が疑われる方のうち、下記のいずれかに該当する方)
- 認知症の診断を受けていない、または治療を中断している方
  - 医療や介護サービスにつながっていない方
  - 医療や介護サービスを利用しているが、症状が悪化して対応に悩んでいる方

認知症の症状で気になること、お困りのことがありましたら、  
瀬戸内市地域包括支援センター 認知症相談窓口 (電話 0869-24-0001) にご相談ください

## ケアネットせとうち(事務局)のご案内

医療・福祉・保健等に関する総合的な相談を受け、多職種連携で支援を行います。

### 【相談対応職員】

保健師

### 【相談時間】

午前8時30分～午後5時15分  
(土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く)

### 【所在地】※R8.4月に移転します!

瀬戸内市邑久町尾張300番地1  
(瀬戸内市役所本庁舎 西棟1階)

【電話番号】(0869)22-3800

【ファックス番号】(0869)24-8840

